

- 第一三共胃腸薬〔錠剤〕
- 第一三共胃腸薬〔細粒〕a
- 第一三共胃腸薬グリーン錠

【使用上の注意】

使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
透析療法を受けている人
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないで下さい。
胃腸鎮痛鎮痙薬
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。
(母乳に移行して乳児の脈が速くなることがあります)
4. 長期連用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 高齢者
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (5) 次の症状のある人
排尿困難

【解 説】

1. 本剤にはアルミニウム塩を含む成分(合成ヒドロタルサイト、ケイ酸アルミン酸マグネシウム、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム)が配合されています。アルミニウムは透析で体外に排泄されにくいいため、長期連用することにより、体内に蓄積されるおそれがあります。
透析患者で長期・大量摂取によるアルミニウム脳症・アルミニウム骨症等の報告がありますので、透析療法を受けている人は服用を避ける必要があります。
2. 共通事項解説〔2〕参照
3. ロートエキスは母乳に移行することが知られています。その母乳を乳児が摂取すると乳児の脈が一時的に速くなる場合がありますので、授乳中は服用しないか、服用する場合は授乳を避ける必要があります。
4. 共通事項解説〔3〕参照
長期連用することにより、アルミニウムが体内に蓄積されるおそれがあります。
1.
 - (1) 共通事項解説〔4〕参照
 - (2) 共通事項解説〔5〕参照
また、ロートエキスにより、胎児に頻脈等があらわれることがあるので、注意が必要です。
 - (3) 共通事項解説〔6〕参照
 - (4) 共通事項解説〔7〕参照
 - (5) 記載されている症状のある人は、下記のような理由で服用前に相談が必要です。
 - 排尿困難
ロートエキスの抗コリン作用により、膀胱の緊張が減少することがあるため、症状が悪化し、さらに尿が出にくくなるおそれがあります。また、前立腺肥大がある場合には、尿閉があらわれるおそれがあります。

- 第一三共胃腸薬〔錠剤〕
- 第一三共胃腸薬〔細粒〕a
- 第一三共胃腸薬グリーン錠

【使用上の注意】

- (6) 次の診断を受けた人
腎臓病、心臓病、緑内障

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

口のかわき、便秘、下痢

4. 2週間位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【解 説】

- (6) 記載されている疾患の診断を受けた人は、本剤に配合されている成分により、病状が悪化するおそれがありますので、服用前に相談が必要です。

- 腎臓病
腎障害のある人は排泄機能の衰えにより、制酸剤に含まれるマグネシウム、ナトリウム、アルミニウムなどの塩類の排泄が遅れるため、過量あるいは長期にわたり摂取した場合、これらのイオンが体内に貯留して副作用を起こすおそれがあります。
- 心臓病
ロートエキスの抗コリン作用により、心拍数が増加し、心臓に負担をかけるため、症状を悪化させるおそれがあります。
- 緑内障
ロートエキスの抗コリン作用により、房水水路が狭くなり、眼圧が上昇し、緑内障を悪化させるおそれがあります。

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに服用を中止し、服用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

3. 一過性の軽い副作用としてあらわれることがあります。直ちに服用を中止する必要はありませんが、症状が持続したり増強する場合は、服用を中止して専門家に相談する必要があります。

- 口のかわき
ロートエキスの抗コリン作用により、唾液の分泌が抑制されてあらわれることがあります。
- 便秘
制酸剤に含まれるアルミニウム塩により、便秘傾向となる場合があります。
また、ロートエキスにより、腸管の蠕動運動が抑制されてあらわれることがあります。
- 下痢
制酸剤に含まれるマグネシウム塩により、下痢傾向となる場合があります。

4. 適応症として記載されている症状では、早ければ1～2日、遅くとも1～2週間位の服用により改善するものですが、それ以上症状が長引く場合は、他の疾患や合併症も考えられるので、服用を中止し、専門家に相談する必要があります。

- **第一三共胃腸薬〔錠剤〕**
- **第一三共胃腸薬〔細粒〕a**
- **第一三共胃腸薬グリーン錠**

【使用上の注意】

その他の注意

母乳が出にくくなることがあります。

【用法・用量に関連する注意】

1. 用法・用量を厳守して下さい。
2. 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

【成分・分量に関連する注意】

本剤に配合されている銅クロロフィリンナトリウム(緑色)により、便が緑色になることがあります。

▶ **第一三共胃腸薬グリーン錠**

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. めれた手で取り扱わないで下さい。水分が錠剤につくと、表面が一部溶けて、変色又は色むらを生ずることがあります。また、めれた錠剤をビンに戻すと他の錠剤にも影響を与えますので、戻さないで下さい。
▶ **第一三共胃腸薬〔錠剤〕**
▶ **第一三共胃腸薬グリーン錠**
5. 容器内(ビンの中)の詰め物は輸送中の錠剤破損防止用ですので、開封後は捨てて下さい。
▶ **第一三共胃腸薬〔錠剤〕**
▶ **第一三共胃腸薬グリーン錠**
6. 1包を分割した残りを服用する場合は、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
▶ **第一三共胃腸薬〔細粒〕a**
7. 品質保持のため、開封後はなるべく早くご使用ください。
▶ **第一三共胃腸薬グリーン錠**
8. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

【解 説】

ロートエキスの抗コリン作用により、母乳の分泌を抑える作用があります。

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 共通事項解説〔9〕参照

銅クロロフィリンナトリウムは緑色で、服用後に吸収されず、便中に排泄されるので、便が緑色になることがあります。

1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照
4. 共通事項解説〔14〕参照
5. 共通事項解説〔15〕参照
6. 本剤を開封状態で放置しておくこと、吸湿して品質に影響を及ぼすので、1包を分割して服用した場合は、吸湿しないように袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用して下さい。
7. 一度開封した製品は吸湿等により徐々に品質が劣化するるので、品質保持の点からなるべく早く使用して下さい。
8. 共通事項解説〔17〕参照

- **第一三共胃腸薬〔錠剤〕**
- **第一三共胃腸薬〔細粒〕a**
- **第一三共胃腸薬グリーン錠**

【使用上の注意】

- 8'. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。
また、ピンを開封した後は、12カ月以内に使用して下さい。
▶ **第一三共胃腸薬グリーン錠**
9. 箱の「開封年月日」記入欄に、ピンを開封した日付を記入して下さい。
▶ **第一三共胃腸薬グリーン錠**

【解 説】

- 8'. 共通事項解説〔17〕参照
一度開封した製品は吸湿等により徐々に劣化するので、品質保持の点から12カ月以内に服用する必要があります。
9. 服用可能な期間を確認していただくために、最初に開封した日付を記入する欄を外箱に設けています。